

12月の 園便り



「クリスマスのはな」

平成 20 年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

「ふくろくさ〜い」と玄関から青ばらのY君の普段より大きい声が聞こえます。「はいはい、袋ですね」と出て行くと、Y君は「この子がね、ふくろちょうだいだって……」と赤ばらのAちゃんを指差していました。どうやら赤ばらのAちゃんの声が私には聞こえなかったようです。(ごめんねAちゃん) Y君は私が差し出した袋を受け取って「はい」と赤ばらのAちゃんに渡すと、そのまま外へ遊びに行きました。Y君は外へ行こうとしていたときに、「ふくろくさあい」と一生懸命言っていたAちゃんに気づいて代わりに言ってくれたようでした。「ふくろくさい」と言っても誰も来なくて困っていたAちゃんは、青ばらのお兄さんが助けてくれてほっとしたことでしょうね。-----絵本「初めてののおつかい」のみいちゃんを思い起こします。精一杯大きな声で「牛乳くさあい」と言っても聞こえない……小さい子どもたちが経験するドキドキ、そんな時に助けてもらったら嬉しいですね。---

つぎに、また別の日のこと、赤ばらのY君が職員室で絵を描いていました。そこへ野球のバットを作りに青ばらのK君、Y君、R君が来ました。赤ばらのY君の手元を覗き込んで、『あ〜じょうずだね〜』『あ〜ほんとだ、じょうずだね〜え』と優しい言葉をかけてあげる青ばらさんたち、青ばらさんたちにかこまれて、描いていた手も止まりじっと画用紙を見つめていた赤ばらのY君でしたが、青ばらさんの言葉にほっとしたように「くるまにいろ、ぬってんだよ〜」と青ばらさんたちに教えてあげていました。「ふ〜ん、きれいだね〜え」とお兄さんたち。最初はちょっと緊張していた赤ばらのY君でしたが、“知らない青ばらのお兄さんたち”が、“なんだか優しい青ばらのお兄さんたち”として印象が変わったことでしょう。小さい子どもたちはいろいろな場面で、年上の子どもたちの様子を見て、その真似をして、やがて同じように小さい子どもたちへの思いやりをもって育っていくのです。こうして模倣して学ぶかたちは、青陵幼稚園の保育の重要な柱ですし、年上の子が小さい子どもたちを守り支えることも青陵幼稚園の重要な保育方針です。最近小学生までが先輩という言葉を使って、年上の子どもたちに丁寧語を使っているようなことを聞きますが、“人を尊重すること”は丁寧語を使う見せかけのものとは違いますね。年齢だけではなくて、本当に尊敬されるような人格が伴わなくてはならないのに、年が上だっただけで??とってしまいます。

“年上にいばる気か!”という間違った言葉、聞きたくないですね。

年上の人は弱い立場の人を守らなくては!

20年12月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	月	○	2:00		
2	火	○	2:00	子どもたちは、アドヴェントのろうそくづくりを始めます。	
3	水	×	11:30	学生による模擬保育が行われます。(県私立幼稚園教員研修)	
4	木	○	2:00	ろうそくづくり	
5	金	○	2:00		
6	土	×	11:30	自由登園日	
7	日				
8	月	○	2:00		
9	火	○	2:00	ろうそくづくり	
10	水	○	2:00	学生による模擬保育が行われます。	
11	木	○	2:00	ろうそくづくり	
12	金	×	11:30	誕生会です。12月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう	
13	土				
14	日				
15	月	○	2:00		
16	火	○	2:00		
17	水	○	2:00		
18	木	×	11:30	白ばら1組、青ばら1組のアドヴェントの庭を行います。	
19	金	×	11:30	白ばら2組、青ばら2組のアドヴェントの庭を行います。	
20	土	×	11:30	赤ばら1, 2組アドヴェントの庭を行います。	
21	日				
22	月	×	11:30	第2学期終業式	
23	火			天皇誕生日	
24	水			冬休み	
25	木				
26	金				
27	土				
28	日				
29	月				
30	火				
31	水				